

障害者・児福祉サービス版

【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 法人の園訓を基本理念として、基本方針、光道園精神を事業所各所に掲示し、法人発行の事例集「施設で生きる」やパンフレット、ホームページにも掲載している。また、各職員には倫理綱領や目標管理シートにより、法人（福祉施設・事業所）の社会的使命等について周知徹底している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 理事会を毎月開催し、経営状況や経営課題について具体的に協議し、法人経営についての方向性や具体的な取組について協議している。また、各機関・協議会団体、地域の障がい者状況、市福祉計画・障害者計画等により各種情報を収集し、経営戦略会議や中長期構想検討委員会等で検討を行い、経営状況の共有や改善すべき課題の改善と解決に向けて取り組んでいる。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 中・長期計画と単年度計画を明確にし、達成状況の確認と見直しを行っている。また、法人の中長期構想検討委員会において、前年度の事業評価や現状課題を検討し、法人としての基本方針、単年度の業務計画書の策定を行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
7	② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 事業計画は、各拠点（事業所）の主任会および経営戦略会議において協議、策定する手順が整えられ、各拠点で共有化されている。また、利用者には年度当初の「顔合わせ会」や各フロアで発行する機関紙等にて年間行事等を説明し、家族には「絆の杜」と「事業計画書」を送付している。なお、利用者への説明の際は、個別に点字、手話、指文字、イラスト、写真等を活用しわかりやすく説明し理解を促している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
9	② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 前回の評価結果を分析し、それに基づく課題が文書化され、職員間で共有されている。また、評価結果を分析・検討する検証委員会を設置し、明らかになった課題について各係ごとに改善に取り組んでいる。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 施設長は、遵守すべき法令等を職員が正しく理解できるよう、連絡会、主任会、経営戦略会議等で適宜説明している。また、有事における管理者の役割と責任については、感染症業務表等において管理者の権限委任が明確化されている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 施設長は、福祉サービスの質の向上を図るため、職員の各種研修（新人、中堅、サビ管研修等）への受講を促し職員の資質向上に取組んでいる。また、職員の資格取得のための助成制度を整備するなど、働きやすい環境づくりに取組んでいる。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 法人の理念・基本方針に基づき「期待する職員像等」を明確にするために、目標管理シート、個人研修計画、法人全体研修等を実施し、新任職員へのプリセプター制度の導入等総合的な人事管理の体制整備を図っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 職員への労務管理と責任体制を「職員のしおり」に明示し、勤怠管理により就業状況を把握するほか、メンタルヘルス研修やカウンセリング、自己申告書、個別面談等の体制を整備している。また、事業所内保育施設の設置、看護休暇制度、子育て研修会等を実施し、子育て中の職員が安心して働けるよう環境整備をしている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 施設が求める職員像を職員のしおり等に明記し、職員は自己申告書と個人管理シートに目標を掲げ、定期的な育成面接により評価等が行われている。また、職員の資格取得状況を研修履歴簿で管理し、職員一人ひとりの経験や職責に応じ、新任研修、プリセプター研修、中堅研修、主任・管理者研修、職能別研修を実施している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 実習生は、指導者研修を受けた職員が対応し、高校、専門学校・大学等の学生を受け入れている。また、「実習生受入マニュアル」を整備し、実習プログラムの内容については学校側と事前に打合せを行うほか、実習中には担当教諭が来所し情報交換を行うなど、学校と連携している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： ホームページを利用し、理念・基本方針、提供する福祉サービスの内容、事業計画・報告書、苦情解決、ヒヤリハット報告書、第三者評価の評価結果等を公開している。また、会計監査人による監査を実施し、経理や内部統制等の指導を受け、公正かつ透明性の高い、適正な経営と運営への取組が行われている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 地域との関わりについて、「関係機関、家族、地域社会との関わり（社会に対する倫理責任）」と倫理綱領に明記している。また、ボランティアの受入れに関する基本姿勢を明示した「ボランティア受け入れマニュアル」を整備し、各種行事を通じボランティアの施設の理解を促している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 「丹南地区自立支援協議会」や「羽二重ねっと（県内の視覚障がい支援ネットワーク）」の構成団体として会議や事例検討会に出席し、地域ニーズの情報共有および協働した取組を行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	a
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 事業所の持つ機能を地域に還元するため「ふく福サポート事業」や「生活困窮者就労訓練事業」を行っている。また、「羽二重ねっと」や「自立支援協議会」と連携した相談会の開催や視覚障害者歩行訓練士の資格を持つ職員の専門性を活かした「白杖訓練事業」の実施、「盲ろう者」の専門施設としての実績を活かした「福井盲ろう者友の会」の運営や「発達障害の親の会」の支援を行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
29	② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 理念、基本方針に、利用者を尊重する福祉サービスの実施について明示するとともに、倫理研修会を通して職員が理解し実践する取組を行っている。また、利用者のプライバシー保護等については、「プライバシー保護マニュアル」、「虐待防止マニュアルとフローチャート」が整備され、職員によるセルフチェックによる振り返りや職員間での話し合いを通じ、利用者本位の福祉サービスの提供に関する意識向上を図っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
31	② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a
32	③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 福祉サービスの開始・変更の説明時は、利用者自身が福祉サービスを決定できるよう、点字、イラスト、写真等々を用い、理解しやすい工夫がなされている。また、意思決定が困難な利用者への配慮について、身元家族、成年後見人に説明を行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	① 利用者満足の上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 利用者満足を把握するため、利用者および家族アンケートの実施、ご意見箱の設置、自治会役員との意見交換、臨床心理士による面談など様々な方法を実施し、利用者の日常生活における満足度向上に向けた取組につなげている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
35	② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a
36	③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 施設入所時に、苦情解決規程や苦情受付と第三者委員会の設置について「苦情解決フローチャート」を利用し説明している。また、利用者からの苦情等の把握にあたっては意見箱や相談室を設置し、相談内容や意見は個別ケースに記録され職員会議において検討し、速やかに本人や自治会で説明している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
38	② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
39	③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的にしている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 事故予防対策委員会を設置し、ヒヤリハットや事故発生事例を集約・検証を定期的に行い、内部研修を通じ職員へ周知している。また、感染予防対策委員会を設置し、災害時および感染症に関するBCPを作成するとともに、災害時の対策として毎月の避難訓練と年2回の総合避難訓練を実施している。なお、訓練時は地域と連絡を取り合うなど、災害時の利用者等の安全確保に向け組織的に取り組んでいる。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 標準的な福祉サービスの実施方法やプライバシー保護についてマニュアル化され、定期的に見直している。また、各職員の目標管理シートにもとづき指導職員が面接・実地指導を行い支援方法が適切であるか確認を行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	a
43	② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 個別支援計画の策定にあたっては、サービス管理者を責任者とし、部門を横断する多職種の職員が連携して作成するアセスメント手法を確立している。また、緊急的に変更が必要な場合は随時カンファレンスを行い、そのカンファレンスには担当者のほかサービス管理者、専門職が参画し、利用者の意向を反映することができるよう努めている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
45	② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 利用者の福祉サービス等の記録は、法人内のパソコンネットワークシステム（ほのほの）により、職員間の記録に差異が生じないよう様式を統一し、閲覧、確認しやすい工夫をしている。また、記録はセキュリティ対策がなされており、利用者の個人情報や契約書に明記し利用者・家族の同意を得ている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

【内容評価基準】

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重	
A①	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。 a
コメント	良い点/工夫されている点： 施設行事や取り組みを決める際には、あらかじめ利用者の意向を確認し企画を行っている。また、全職員を対象とした権利擁護研修を実施し、利用者の権利を理解・共有する機会を設けている。
	改善できる点/改善方法： 特になし。

A-1-(2) 権利侵害の防止等	
A②	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。 a
コメント	良い点/工夫されている点： 権利侵害の防止等に関する倫理委員会を設け虐待・権利擁護の取り組みを実施している。また、利用者等が通報しやすいように様々な虐待事例を用いたわかりやすい虐待防止ポスターを施設内に掲示し周知を図るとともに、職員は研修会や虐待防止セルフチェックにより確認し意識付けをしている。
	改善できる点/改善方法： 特になし。

A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本	
A③	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。 a
A④	② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。 a
A⑤	③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。 a
A⑥	④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。 a
A⑦	⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。 a
コメント	良い点/工夫されている点： 職員全員に、PT等の専門職による介護技術研修を実施している。また、利用者の障がい特性に合わせたコミュニケーション手段として、点字情報端末「ブレイルセンス」を活用し、コミュニケーションの向上を図るとともに、利用者の状況に応じ随時カンファレンス等を行い、定期的に関わり方の見直しを行っている。
	改善できる点/改善方法： 特になし。

A-2-(2) 日常的生活支援	
A⑧	① 個別支援計画にもとづく日常的生活支援を行っている。 a
コメント	良い点/工夫されている点： 入浴は週3回を基本とし、一般浴・特浴と利用者の心身の状況に応じて対応している。また、排泄はPT指導の下、移乗サポートロボット（Hug）を活用し状況に応じ支援を行っており、食事については、栄養士、看護師、支援員で栄養カンファレンスを定期的に行い栄養ケア計画を立てている。
	改善できる点/改善方法： 特になし。

A-2-(3) 生活環境	
A⑨	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。 a
コメント	良い点/工夫されている点： 居室は全て個室で、各居室には空調設備、湿温計を設置し、エアコンを事務所で一括管理し、日中・夜間も利用者が快適に生活できる環境が整っている。また、衛生委員会による危険箇所チェックなど利用者の安全・安心に配慮している。
	改善できる点/改善方法： 特になし。

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練	
A⑩	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。 a
コメント	良い点/工夫されている点： 利用者向けにわかりやすい個別リハビリマニュアルを作成し、利用者本人でも居室で自主的に身体を動かしたりすることができるよう工夫をしている。また、専門職（PT等）と連携し、リハビリのカンファレンスを定期的に行い、利用者の身体の状態に合わせた機能訓練・生活訓練を行っている。
	改善できる点/改善方法： 特になし。

A-2-(5) 健康管理・医療的な支援	
A⑪	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。 a
A⑫	② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。 a
コメント	良い点/工夫されている点： 利用者の健康管理は、日常的に検温、摂取量チェック、排泄チェック、口腔チェック等や入浴時に看護師により全身状態を把握している。また、服薬は看護師のもと介護職による二重チェックを行っており、緊急時は看護師指導のもと、担当職員が適切かつ迅速な対応ができる体制整備を行っている。
	改善できる点/改善方法： 特になし。

A-2-(6) 社会参加、学習支援	
A⑬	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。 a
コメント	良い点/工夫されている点： 利用者の社会参加については点字等を活用し不在者投票の選挙支援をしている。また、利用者のニーズや要望に合わせ外部の専門講師による音楽療法、学習支援を定期的に取り組んでいる。
	改善できる点/改善方法： 特になし。

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	
A⑭	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。 b
コメント	良い点/工夫されている点： 特になし。
	改善できる点/改善方法： 利用者が地域生活への意欲を高めるための情報提供（イメージ、スケジュール等）や、他の福祉施設への移行に向けた利用者支援のルール等の整備が望まれる。

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	
A⑮	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。 a
コメント	良い点/工夫されている点： 定期的に家族会を開催し意見交換の機会を設けるとともに、毎月広報誌を家族に送付し利用者の様子を伝えている。また、緊急時の対応は、所定の手順にもとづき家族への報告・連絡ルールを明確にして適切に行っている。
	改善できる点/改善方法： 特になし。